

グローエジャパン株式会社

本社 〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1 東京流通センタービル
TEL 03-3298-9683 FAX 03-3767-3811
大阪営業所 〒550-0014 大阪市西区北堀江1-5-2 四ツ橋新興産ビル
TEL 06-6533-3015 FAX 06-6533-3460

GROHEJAPAN ホームページ
<http://www.grohe.co.jp>

デッキバスシャワー混合栓据付説明書 (お客様にお渡してください)

機種名

一般地用品番

オンドス

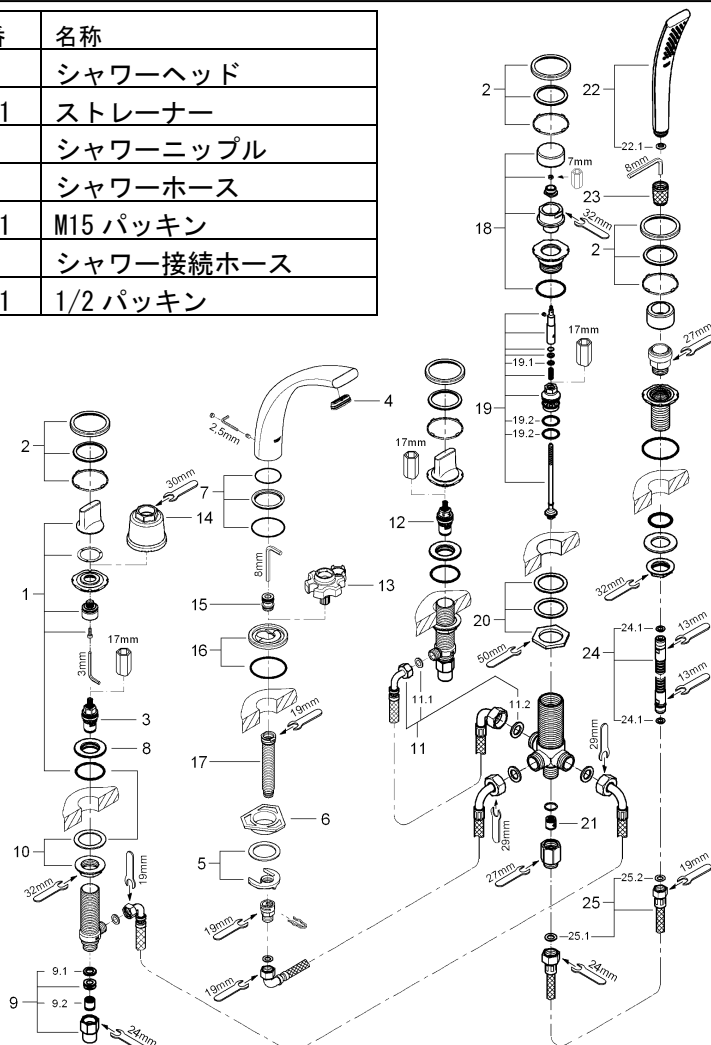
3104700J

- 製品の機能が十分に発揮されるように、この据付説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 据付完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- また、この説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

分解図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

図番	名称
22	シャワーヘッド
22.1	ストレーナー
23	シャワーニップル
24	シャワーホース
24.1	M15 パッキン
25	シャワー接続ホース
25.1	1/2 パッキン



図番	名称
1	ハンドルセット
2	化粧リングセット
3	セラミックヘッドパーツ
4	エアレーター
5	吐水口締付セット
6	三角形固定板
7	化粧リング
8	上部ナット
9	逆止弁アダプター
9.1	1/2 パッキン
9.2	逆止弁φ15
10	バルブ締付セット
11	接続ホース
11.1	3/8 パッキン
11.2	3/4 パッキン
12	セラミックヘッドパーツ
13	取付工具
14	専用工具
15	ニップルセット
16	化粧プレートセット
17	固定チューブ
18	切換ツマミ
19	切換弁セット
19.1	Oリング
20	切換弁締付セット
21	逆止弁φ15

安全上の注意

据付前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく据付してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様ではありませんので、水抜きには工具を必要とします。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生恐れがあります。

据付完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、レバー、ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生恐れがあります。

使用条件

● 給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器（ボイラー、電気温水器）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力（0.07Mpa [0.7kgf/C m²]）～（最高圧力 0.74Mpa [7.5kgf/C m²]）の範囲とします。

給水・給湯圧力はできるだけ同圧（最大3：1以内）になるようにしてください。

◇ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力（A+0.07Mpa [0.7kgf/C m²]）～（最高圧力 0.74Mpa [7.5kgf/C m²]）の範囲とします。給水・給湯圧力はできるだけ同圧（最大3：1以内）になるようにしてください。

※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

※以上は下記の条件を想定して設定されて降ります。

レバー、ハンドルは全開です。

ガス給湯器との組合せ条件が最も悪い冬期条件（給水温度 5℃、吐出温度 40℃）によるものです。

給水圧力はガス給湯器直前における流動圧です。

ガス給湯器の温度調節は最高温度（60℃）設定です。

◇給水圧力が 0.74Mpa [7.5kgf/C m²] を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

● 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

● 給湯に蒸気を使用しないでください。

● 水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

据付前の注意

● 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

● 給水は上水道に接続してください。

※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

● 開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

● 必ず配管中の異物（ゴミ、砂等）を完全に洗い流してください。

● 寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないと使用できません。

● 取り付ける場合、必ず水受けを設けスラブへの防水を行ってください。

● 給水・給湯管緩み防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

故障と点検

※取り付け後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

※ 新品時はシールテープ、グリス等が付着していることがあります。よく洗い流してください。

清掃方法についてはお客様用取扱説明書をご参照ください。

泡沫器

2. ゴミづまりはないか？

固定ビス

1 1. きちんと施工されているか？

ハンドル

5. きちんと取り付けてあるか？

止ビス

4. きちんと取り付けてあるか？

ヘッドパーツ

3. 破損・ゴミかみはないか？

水漏れ防止パッキン

6. きちんと取り付けてあるか？

バルブ設置位置

1 0. きちんと調整されているか？

逆止弁

7. 破損・ゴミかみはないか？

シャワー

1 3. ホースの引っ掛かりはないか？

切替弁

1 2. キズ・ゴミかみはないか？

吐水口オーリング

9. キズ・ゴミかみはないか？

シャワーホース

1 4. 破損・締め付けのゆるみはないか？

ホース逆止弁

1 5. 破損・ゴミかみはないか？

接続ホース

8. きちんと施工されているか？

止水栓

1. 全開されているか？
圧力は十分か？

現象	点検箇所
吐水量が少ない	1. 2. 7. 8
水が止まらない	3
温度不良	1. 3. 7
ハンドルがガタつく、抜ける	4. 5
カウンター内より漏水する	6. 8. 1 4
吐水口より漏水する	9

現象	点検箇所
ハンドルがすれる、回らない	1 0
吐水口がガタつく	1 1
シャワーに切り換わらない	1. 1 2
シャワーが取り出せない	1 3
シャワーの量が少ない	1. 1 4. 1 5

取り付け後の確認

取り付け完了後、必ず下記の項目を確認してください。

図 20

1. 接続部の水漏れ（図 20 参照）

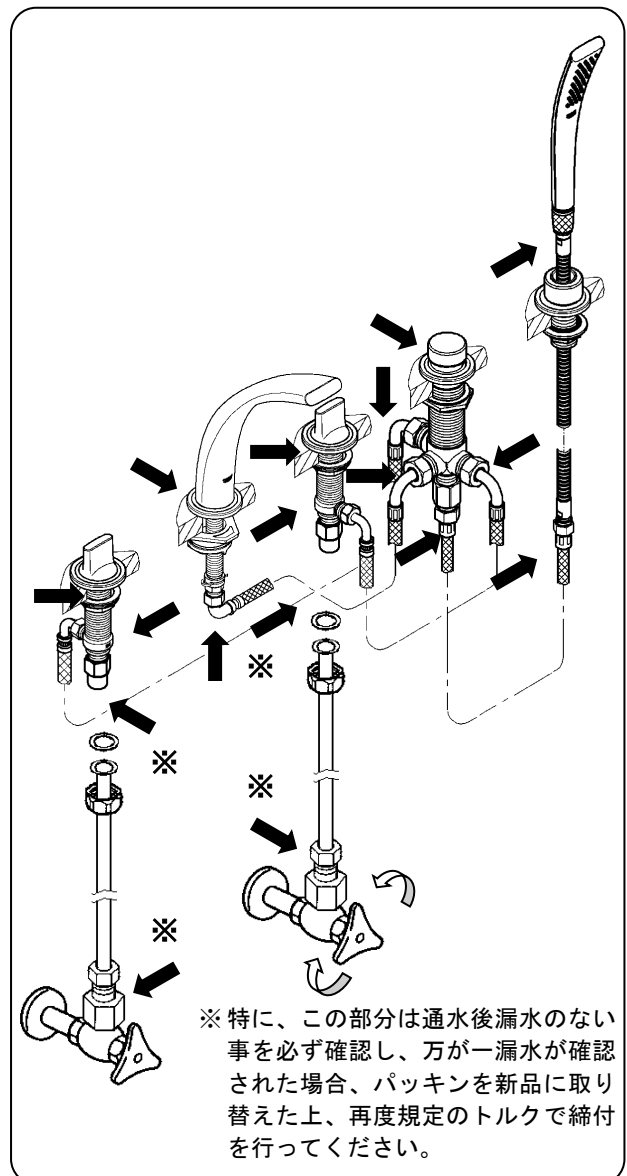
吐水、止水を数回くりかえした後、図の箇所を点検します。

- 止水栓と給水・給湯管の接続部。
- 給水・給湯管と逆止弁の接続部
- 逆止弁とバルブ給水・湯給口の接続部
- バルブ給水・湯給口とバルブ本体の接続部
- バルブ本体とハンドルの接続部。
- バルブ出口と接続ホースの接続部。
- 接続ホースと切換弁の接続部（湯・水）
- 切換弁と接続ホースの接続部（吐水口側）
- 切換弁とニップル（接続ホース）の接続部。
- ニップルと吐水口の接続部。
- 切換弁とシャワー接続ホースの接続部。
- シャワー接続ホースとシャワーホースの接続部。
- シャワーホースとシャワーヘッドの接続部。

2. 水量・湯温の調節（図 20 参照）

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節してください。

※湯水の流量を同程度にすると温度調節がしやすくなります。



※ 特に、この部分は通水後漏水のない事を必ず確認し、万が一漏水が確認された場合、パッキンを新品に取り替えた上、再度規定のトルクで締付を行ってください。

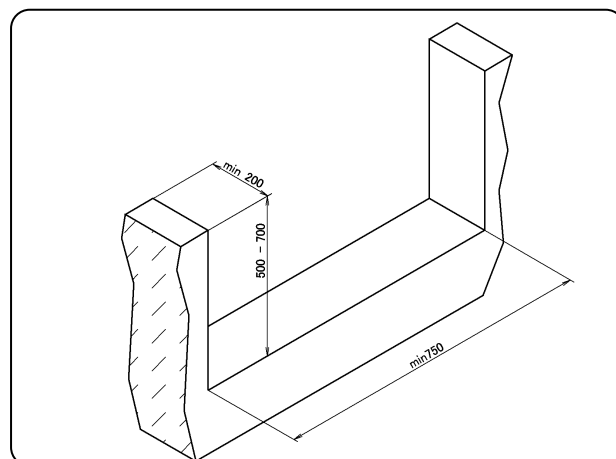
据付手順（点検窓、カウンター）

1. 点検窓の設置（図1参照）

- ①設置場所に点検用のスペースを設けてください。
- ②バルブと吐水口の接続には、ブレードホースを使用しております。劣化による部品交換が必要となった場合や、接続部分の水漏れ点検等のため、必ず点検窓を設置してください。

※必ず別途点検窓を設置してください。

図1

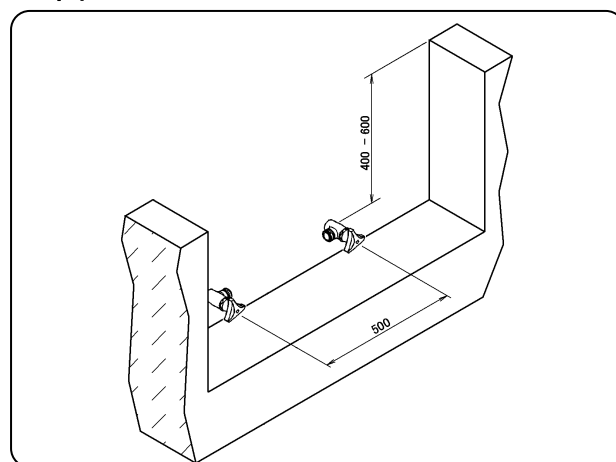


2. 止水栓の取り付け（図2参照）

- ①設置場所に止水栓を設けてください。
- ②湯・水の水量調整や、接続部分の水漏れ点検等のため、止水栓の設置をおすすめします。

※止水栓の位置は規定寸法を守ってください。ブレードホースに余裕をもたせてください。

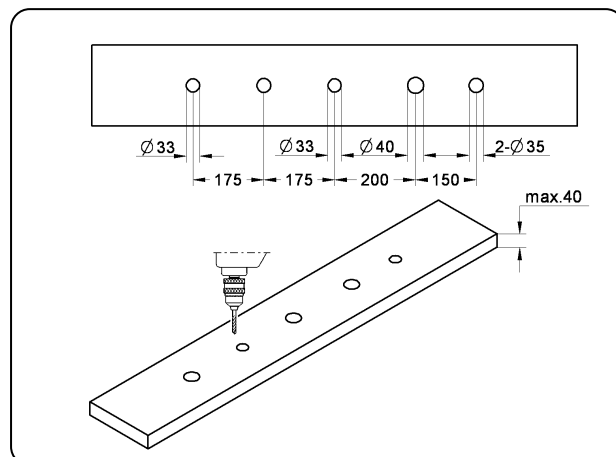
図2



3. タイル（石）の準備（図3参照）

- ①タイル（石）にドリル等で穴をあけてください。
- ※取り付け間隔は参考寸法です。接続ホースの範囲内で変更できます。

図3

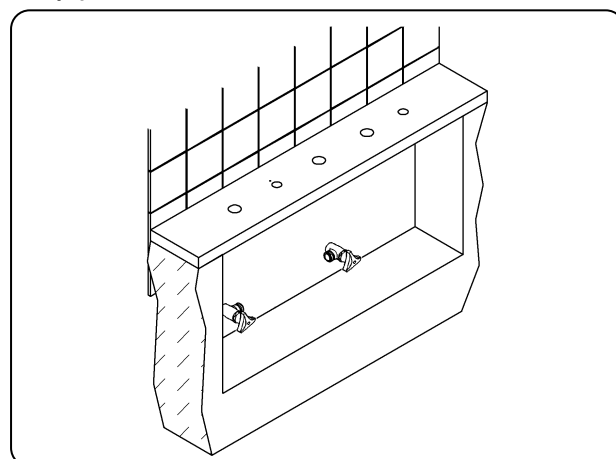


4. カウンターの仕上げ（図4参照）

- ①設置場所のカウンターを点検窓にする場合は、その部分のキリカキが必要です。
- ②点検窓になるカウンターと、その部分以外のカウンターを仕上げてください。

※カウンターの厚みは40mmまでになっております。

図4



据付手順（吐水口、バルブ、切換弁）

オンドス

1. 吐水口の取り付け（図1～4参照）

図1参照

- ①吐水口付属部品を収納している小袋から、化粧プレート、水漏れ防止用パッキンを取り出してください。
- ②馬蹄形締付金具を固定チューブに手でねじ込んでください。
- ③カウンター裏から三角形固定板、ゴム製平パッキン、馬蹄形締付金具取り付けした固定チューブを挿入してください。
※三角形固定板、ゴム製平パッキン、馬蹄形締付金具がきちんと重なっていることを確認してください。

図2参照

- ①固定チューブに化粧プレートが、はまるように差し込んでください。
- ②一度差し込んであとに、横にずらしきちんとはまっているか確認してください。
- ③化粧プレートの平面が正面になるようにしてください。化粧プレートの穴は後側になります。
- ④付属の取付工具を固定チューブに差し込み、右回しに回してください。馬蹄形締付金具が上昇し、カウンターと化粧プレートとで挟み込み固定します。
- ⑤固定する際は、取付穴が化粧プレートの中心にくるように取り付け、最後に19mmスパナで確実に締め付けてください。
※水漏れ防止用パッキンが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。
※三角形固定板、ゴム製平パッキン、馬蹄形締付金具がきちんと重なっていることを確認してください。
※化粧プレートを固定する際、取り付け穴が化粧プレートの中心にくるように取り付けてください。
※固定チューブが確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度固定チューブを締め直してください。
※化粧プレートが抜ける場合は、固定チューブが固定できません。化粧プレートをきちんとはめてから締め付けてください。
※固定には取付工具以外に19mmスパナでも締め付けられます。また、取付工具は使用後にお客さまにお渡しください。

図3参照

- ①ニップルを8mm六角レンチで固定チューブに右回しに固定してください。
- ②化粧リングにOリングを取り付けてから化粧プレートに、はめ込んでください。
※Oリングが切れないよう注意してください。

図4参照

- ①吐水口のくぼみと化粧プレートの平面を合わせ、ニップルに吐水口を手で差し込みます。
- ②吐水口に止ビスを2.5mm六角レンチで右回しにねじ込み固定します。
- ③止ビスの穴にキャップを手ではめ込んでください。
※吐水口が差し込みにくい場合はニップルのオリングにグリスを塗ってください。
※吐水口が確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、固定ピンがきちんと入っているのを確認し、止ビスを締め直してください。
※Oリングが切れないよう注意してください。

図1

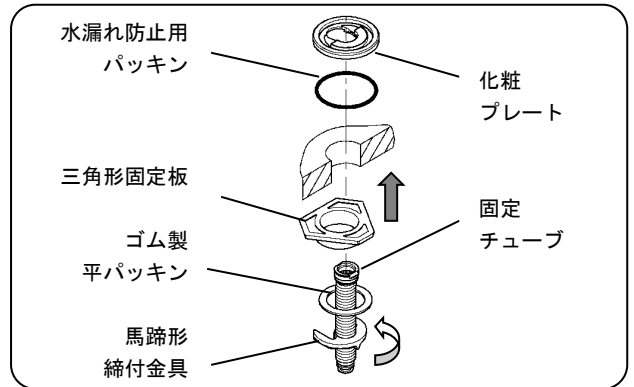


図2

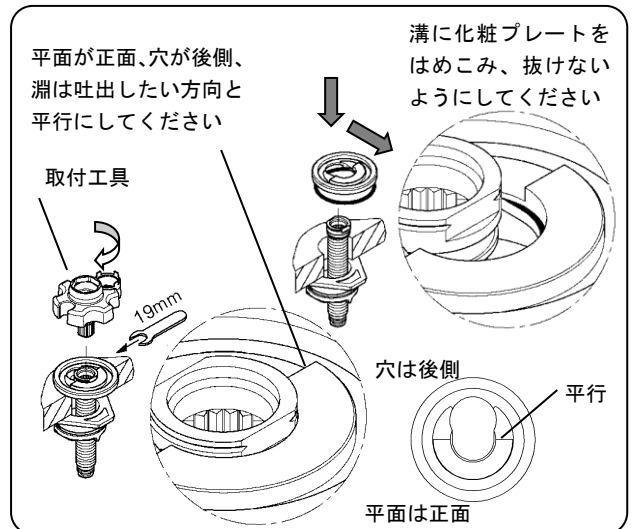


図3

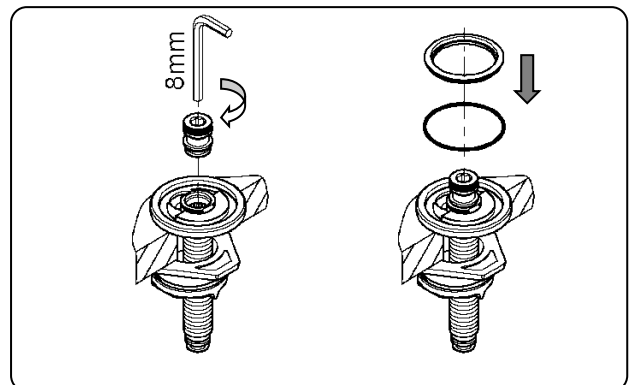
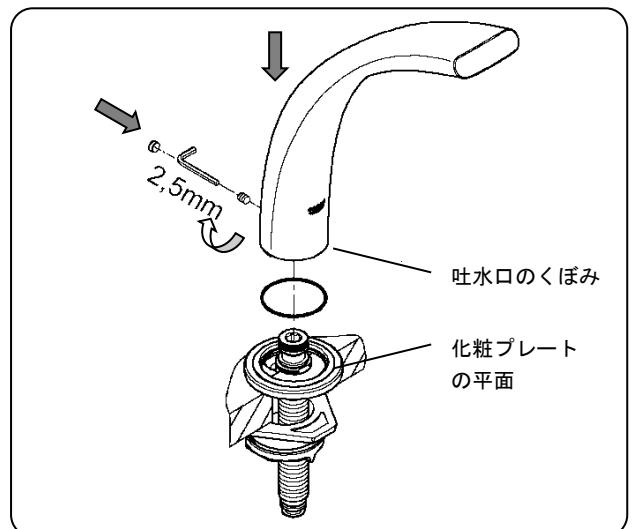


図4

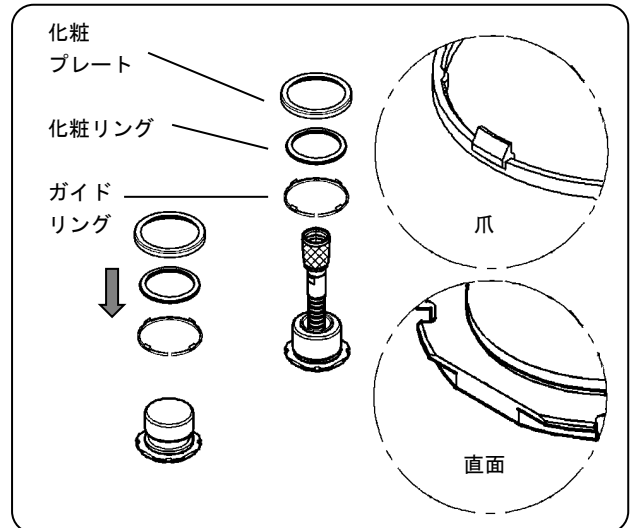


オンドス

12. 化粧リングの取り付け（図 17 参照）

- ①ガイドリングの爪とフランジナットの直面が合うよう、ガイドリングをフランジナットの溝に、はめ込んでください。
 - ②化粧リングをハンドルセットに、はめ込んでください。
 - ③化粧プレートをガイドリングに、はめ込んでください。
- ※ガイドリングはプラスチック製ですので、取り扱いには注意してください。

図 17

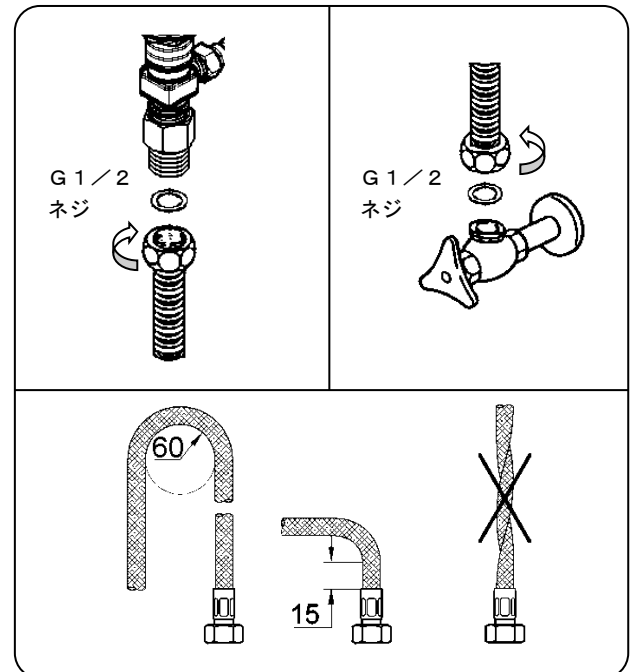


市販のフレキチューブ

13. 給水管の取り付け（図 18 参照）

- ①市販のフレキチューブの袋ナットを逆止弁にねじ込み、確実に固定してください。
 - ②もう一方の袋ナットを止水栓にねじ込み、確実に接続してください。
- ※フレキチューブがねじれないように配管してください。ねじれて配管されますと、加圧した際ホースを取り付けたナットの緩みの原因になります。
- ※曲げ半径 (60mm) よりも小さく曲げて使用しますと、ホースが折れることがあり、折れた部分から早期破壊を生じる可能性があります。施工時には、最小曲げ半径 (60mm) よりも小さく曲げないように、ご注意ください。
- ※接続の端面から極端にフレキチューブを屈曲して、施工しないでください。
- ※締付は、200～300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

図 18

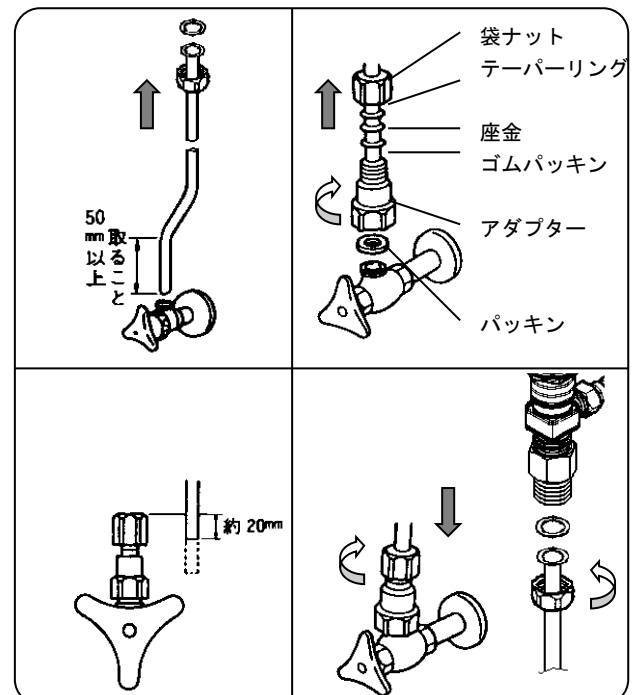


別売の 12803000、12901000、12042000

14. 給水管、アダプターの接続（図 19 参照）

- ①別売の接続パイプ（12803000）に別売の接続ナット（12901000）のねじが上向きになるよう差し込んでください。
 - ②接続パイプを図の通り、止水栓の取り出し芯に合うように曲げてください。
- ※止水栓より 50mm 以内では、パイプを曲げないでください。
- ※パイプはなるべくゆるやかに曲げ、垂直部分が長くなるようにしてください。
- ※パイプがつぶれないように注意してください。
- ③止水栓に別売の接続アダプター（12042000）を仮固定した後、給水・給湯パイプの差込代 20mm を確保し、余った部分をパイプカッター等で切断してください。またバリが出来た場合は必ず取り除いてください。
 - ④給水パイプに袋ナット、テーパリング、座金、ゴムパッキンの順に入れて、逆止弁に差し込んでください。
 - ⑤仮固定しておいたアダプターを止水栓にねじ込み、確実に固定してください。
 - ⑥接続ナットにパッキンを差し込んで、本体の接続ネジにねじ込み、確実に固定してください。
 - ⑦最後に、給水パイプを逆止弁にしっかり差し込み、スパナ等で完全に締め付けてください。
- ※締付は、200～300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

図 19

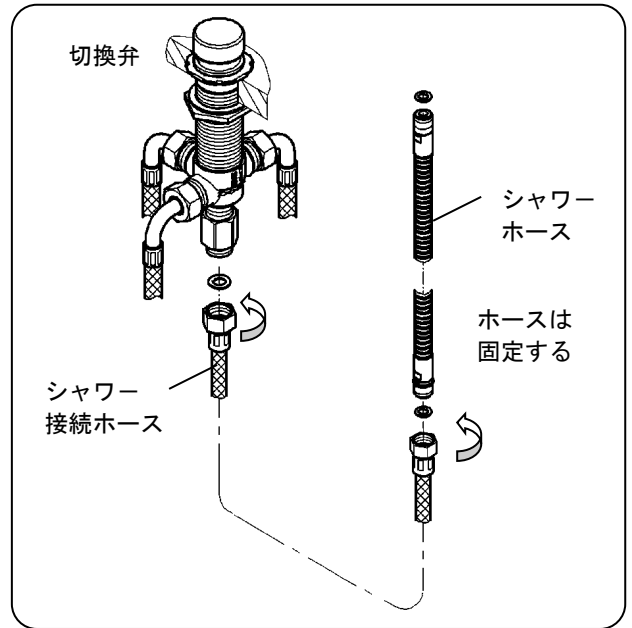


オンドス

8. シャワーホースの取り付け（図 14 参照）

- ①接続ホース袋ナットに付属のパッキンをはめ込んでください。
- ②切換弁下部にシャワー接続ホースの袋ナットを工具（24mmスパナ）で右回しにねじ込んでください。
- ③ホースを工具（13mmスパナ）で固定し、シャワー接続ホースの袋ナットを工具（19mmスパナ）で右回しにねじ込んでください。
- ④切換弁には四つの接続口があります。
左右が湯水接続の入口、横が吐水口接続の出口、下がシャワー接続の出口になります。
必ず接続を確認してください。
※ホースのオーリング付側のねじ部が切換弁側になります。

図 14



9. シャワーホルダーの取り付け（図 15 参照）

- ①シャワーホルダー付属部品を収納している小袋から、Oリングを取り出し、シャワーホルダーに取り付けてください。
- ②シャワーホルダーをカウンター上部から取り付け穴に挿入します。カウンターうらから、スリップワッシャーを挿入し、締付ナットで締め付け、仮に止めておいてください。
- ③専用工具の爪を、上部ナットの溝に差し込み、専用工具を工具（30mmスパナ）等で固定し、カウンター下から、下部締付ナットを工具（32mmスパナ）等で締め付けてください。
- ④スリーブを工具（32mmスパナ）等で右回しにねじ込んでください。
- ⑤スリーブに化粧カバーを手で右回しにねじ込んでください。
※Oリングが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。
※シャワーホルダーが確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直してください。

図 15

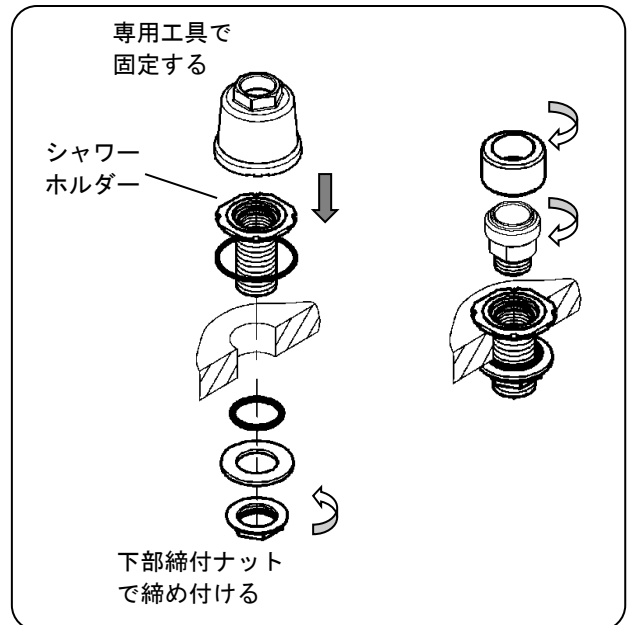
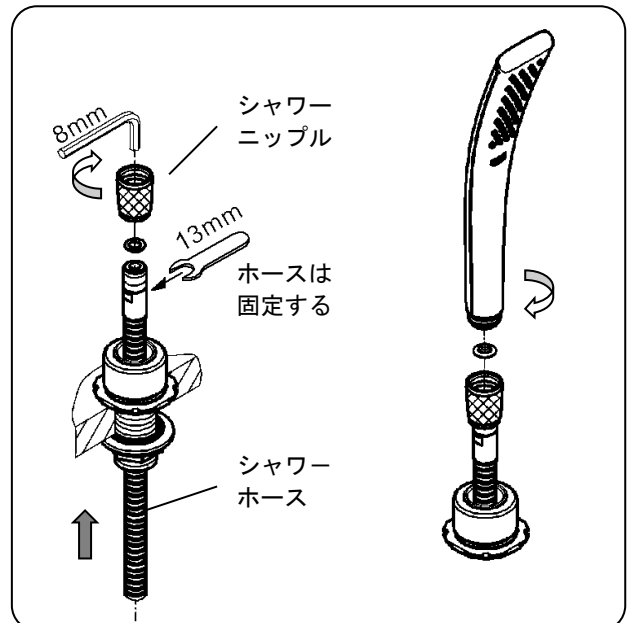


図 16

10. シャワーヘッドの取り付け（図 16 参照）

- ①シャワーホースをシャワーホルダーの下部から通してください。
- ②ホースにパッキンが付属しているか確認してください。
- ③ホースを工具（13mmスパナ）で固定し、シャワーニップルを工具（8mm六角レンチ）で右回しにねじ込んでください。
- ④シャワーニップルにパッキンが付属しているか確認してください。
- ⑤ストレーナーをシャワーヘッドに、はめ込んでください。
- ⑥ニップルにシャワーヘッドを手で右回しにねじ込んでください。
※強くねじ込み過ぎると、パッキンの割れ等が発生する場合があります。



据付手順（吐水口、バルブ、切換弁）

オンドス

2. バルブの取り付け（図5～7参照）

図5参照

- ①湯水バルブは湯、水の区別がありますので、湯側はHOT 刻印または赤シール、水側はCOLD 刻印または青シールを使用してください。
- ②湯側バルブのスピンドルを手またはプライヤー等で右に回し、閉栓の状態であることを確認します。
- ③水側バルブのスピンドルを手またはプライヤー等で左に回し、閉栓の状態であることを確認します。
※オーリングが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。

図5

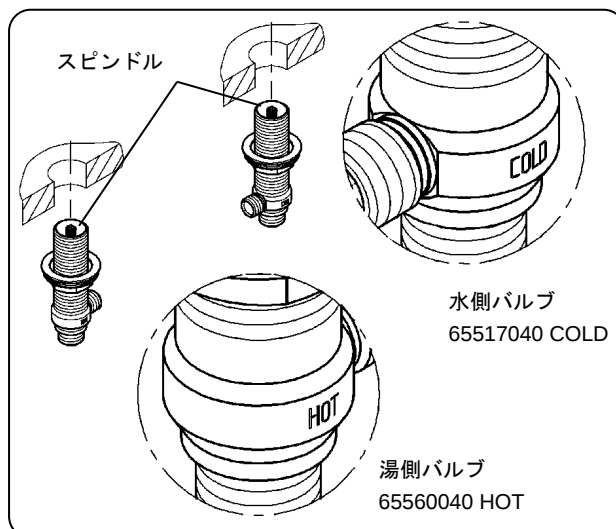


図6参照

- ①バルブ付属部品を収納している小袋から、Oリングを取り出し、上部ナットに取り付けてください。
- ②バルブの締付ナットを下向きに最大緩め、ゴム製平パッキンを挿入してください。
- ③バルブを据付しやすい位置（出口の向きが水側は正面、湯側は後側）でカウンター下部より挿入してください。
- ④ハンドルセットの装着代 $5\text{mm} \pm 1\text{mm}$ になるよう、バルブに上部ナットを手でねじ込んでください。
- ⑤下部締付ナットを工具（32mmスパナ）等で締め付けてください。
※Oリングが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。
※バルブが確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直して下さい。
※固定には別売（市販品）の垂直スパナ等を使用して確実に締め付けてください。

図6

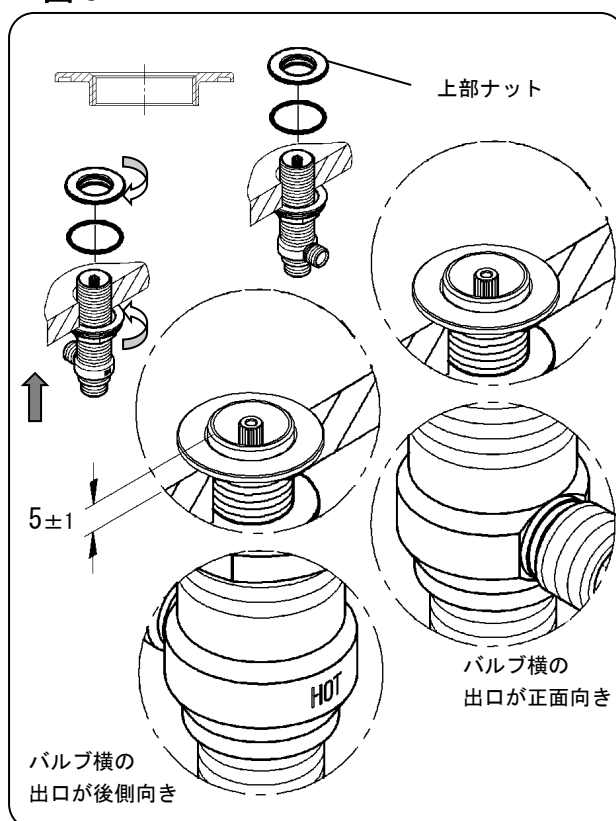
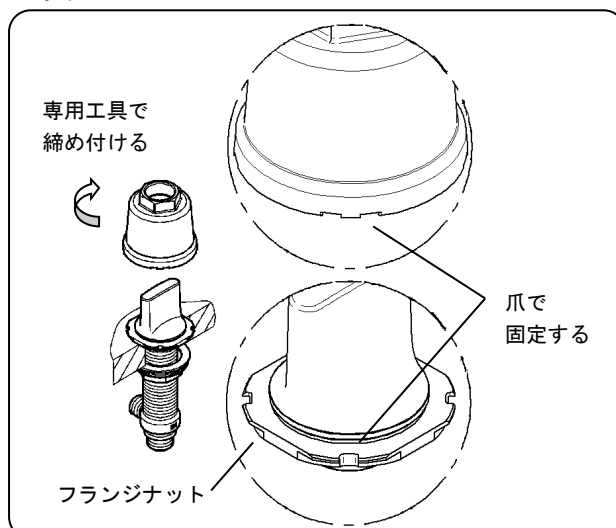


図7参照

- ①ハンドルセットのハンドルが図のように正面を向くよう、バルブのスピンドルのギザギザとハンドル内側のギザギザを合わせ、フランジナットを手でバルブにねじ込んでください。
- ②専用工具の爪を、フランジナットの溝に差し込んでください。
- ③専用工具でハンドルセットをバルブにねじ込んでください。
※湯側の閉栓は右回し、水側が左回しで閉栓になります。

図7



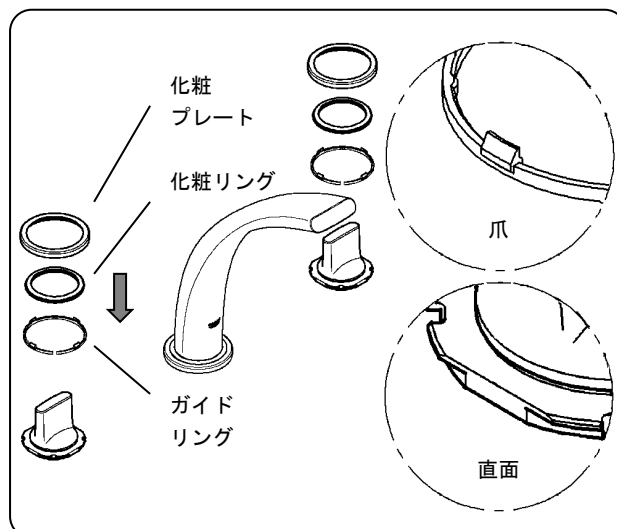
据付手順（吐水口、バルブ、切換弁）

オンドス

3. 化粧リングの取り付け（図8参照）

- ①ガイドリングの爪とフランジナットの直面が合うよう、ガイドリングをフランジナットの溝に、はめ込んでください。
 - ②化粧リングをハンドルセットに、はめ込んでください。
 - ③化粧プレートをガイドリングに、はめ込んでください。
- ※ガイドリングはプラスチック製ですので、取り扱いには注意してください。

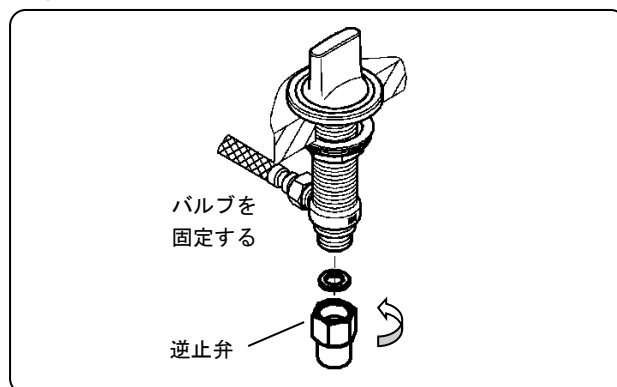
図8



4. 逆止弁の取り付け（図9参照）

- ⑥バルブ下の給水・給湯口に逆止弁をねじ込みます。
 - ⑦バルブを工具（プライヤー）等で固定し、逆止弁を工具（24mmスパナ）等で完全に締め付けてください。
- ※締付は、200～300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

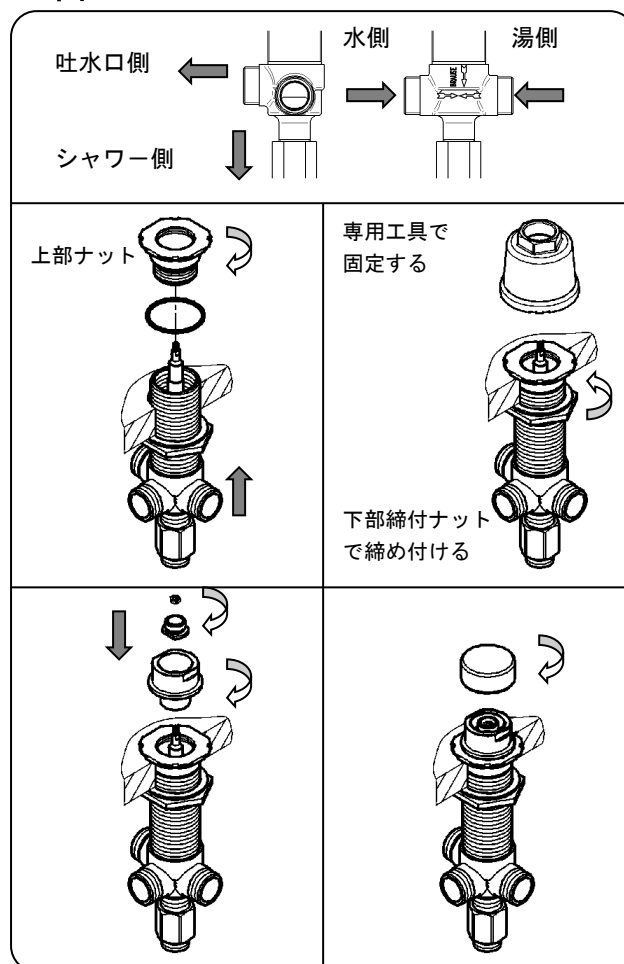
図9



5. 切換弁の取り付け（図10参照）

- ①切換弁には四つの接続口があります。左右が湯水接続の入口、横が吐水口接続の出口、下がシャワー接続の出口になります。必ず接続前に確認してください。
 - ②切換弁付属部品を収納している小袋から、Oリングを取り出し、上部ナットに取り付けてください。
 - ③切換弁の締付ナットを下向きに最大緩め、据付しやすい位置（出口の向きが水側は正面、湯側は後側）でカウンター下部より挿入し、上部ナットを手でねじ込んでください。
 - ④専用工具の爪を、上部ナットの溝に差し込み、専用工具を工具（30mmスパナ）等で固定し、カウンター下から、下部締付ナットを工具（50mmスパナ）等で締め付けてください。
 - ⑤化粧スリーブを工具（32mmスパナ）等で右回しにねじ込み、切換弁のスピンドルにワッシャーを手で差し込む、ナットを工具（7mmスパナ）等で右回しにねじ込んでください。
 - ⑥ワッシャーに切換ツマミを手で右回しにねじ込んでください。
- ※Oリングが取り付け穴に落ち込んでいないことを確認してください。
- ※切換弁が確実に固定されていることを確認してください。動く場合は、再度締付ナットを締め直してください。

図10



オンドス

6. バルブと切換弁の接続（図 11、12 参照）

- ①接続ホース袋ナットに付属のパッキンをはめ込んでください。
 - ②接続ホース一本目は、水側バルブの出口側に袋ナットを工具（19mmスパナ）等で確実に締め付けてください。
切換弁の入口側に袋ナットを工具（29mmスパナ）等で確実に締め付けてください。
 - ③接続ホース二本目は、湯側バルブの出口側に袋ナットを工具（19mmスパナ）等で確実に締め付けてください。
切換弁の入口側に袋ナットを工具（29mmスパナ）等で確実に締め付けてください。
- ※付属のパッキンを紛失の場合は同径の市販品パッキンでもご利用できます。
- ※接続ホースがつぶれないよう注意してください。
- ※締付は、200～300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

図 11

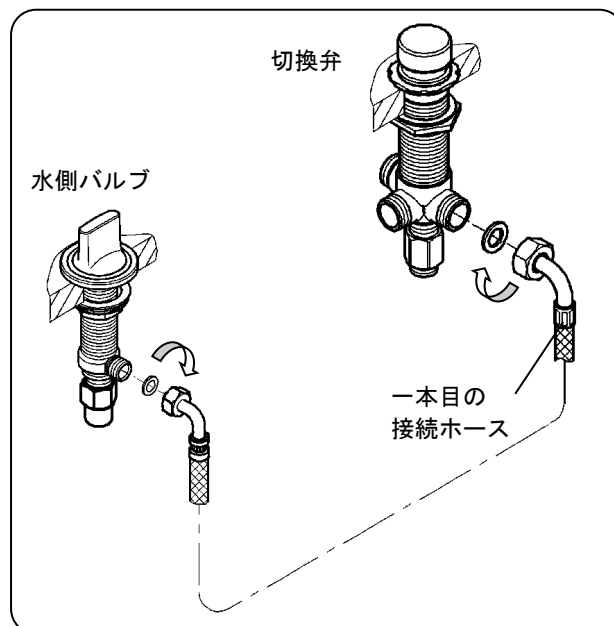
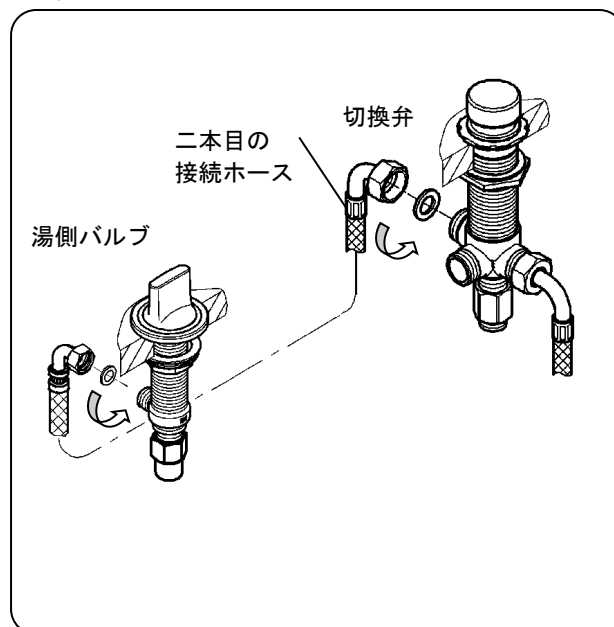


図 12



7. 吐水口と切換弁の接続（図 13 参照）

- ①接続ホース袋ナットに付属のパッキンをはめ込んでください。
 - ②接続ホース三本目は、ニップルを工具（19mmスパナ）等で固定し、接続ホース袋ナットを工具（19mmスパナ）等で締め付けてください。
 - ③吐水口の固定チューブにニップルを差し込んでください。
 - ④リングピンをチーズに、はめ込んでください。
 - ⑤切換弁の出口側に袋ナットを工具（29mmスパナ）等で確実に締め付けてください。
- ※付属のパッキンを紛失の場合は同径の市販品パッキンでもご利用できます。
- ※接続ホースがつぶれないよう注意してください。
- ※締付は、200～300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

図 13

